

IV 保健事業と広報事業

1 医療費適正化・保健事業	
(1) 医療費通知	47
(2) 国民健康保険日帰り人間ドック助成事業	47
(3) ジェネリック医薬品普及促進事業	48
(4) 国保特定健康診査・特定保健指導事業	48
(5) 特定健康診査等未受診者対策事業	50
(6) 受診勧奨値を超えている方への対策	50
(7) 重複・頻回受診者等訪問指導事業	51
(8) 糖尿病性腎症重症化予防事業	51
(9) 高齢者のフレイル対策	52
(10) 健康教育事業（ポピュレーションアプローチ）	52
(11) 地域包括ケアの推進	52
2 広報事業	
(1) 国民健康保険制度啓発事業	53
(2) 市政だよりへの掲載	53
(3) 国保だよりの発行	53

1 医療費適正化・保健事業

国民健康保険は、地域保険であることの特徴を生かし、保健事業を幅広く展開し、要介護者の減少や健康寿命を伸ばすことをめざしている。令和6年3月に、第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)・第4期特定健康診査等実施計画【令和6年度～令和11年度】を策定した。

	国保税収入額	保健事業費	保健事業比率
令和2年度	4,835,902千円	232,255千円	4.80%
令和3年度	4,621,638千円	243,641千円	5.27%
令和4年度	4,389,000千円	246,465千円	5.62%
令和5年度	4,219,000千円	246,378千円	5.84%
令和6年度	4,178,198千円	232,280千円	5.56%

(1) 医療費通知

① 事業費 14,902千円

ア. 通信運搬費 10,613千円 イ. 委託料 4,289千円

② 内容

健康保持のために要した医療費の額などを被保険者に通知し、国民健康保険の役割と健康意識の高揚を図った。全受診者を対象に下記項目について、ポストックスハガキで郵送した。

(通知項目)

ア. 受診者氏名 イ. 受診年月 ウ. 受診日数 エ. 受診区分 (入院・外来・歯科・薬局別)
オ. 医療費の総額 カ. 一部負担金 キ. 診療を受けた医療機関名

③ 実施回数及び件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数	6回	6回	6回	6回	6回
通知件数	158,135件	159,257件	157,075件	152,815件	147,993件

平成29年度の税制改正に伴い、医療費通知が医療費控除の医療費の明細書の代わりとして利用可能となった。

(2) 国民健康保険日帰り人間ドック助成事業

① 事業費 11,618千円

ア. 通信運搬費 222千円

イ. 委託料 (検査委託料等) 11,396千円

② 内容

被保険者の健康保持・増進を目的に、国民健康保険の被保険者に対して、疾病の予防及び早期発見・早期治療を図るため、人間ドック受診希望者に受診費用の一部助成。

(対象者)

福島市国民健康保険の被保険者で、当該年度内において、満30歳から5歳刻みの30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳に達する方。(国保特定健診受診者は除く。)

(助成額)

費用額の7割を助成

男性 29,953円 (費用額 42,790円)

女性 31,493円 (費用額 44,990円)

(実施機関・実施時期)

福島市の7医療機関・令和6年7月～令和7年2月

(検査項目)

ア.身体測定	イ.理学的検査	ウ.血圧測定	エ.眼科検査	オ.血液化学検査
カ.肝臓検査	キ.心電図検査	ク.腎機能検査	ケ.糖尿病検査	コ.胃検査
サ.子宮頸部検査	シ.胸部X線検査	ス.便潜血反応検査	セ.腹部超音波検査	

※オプション

ソ.前立腺腫瘍マーカー検査	タ.乳房検査(マンモグラフィ)
---------------	-----------------

③ 受診者数

男性 129人 女性 183人 計 312人

(3) ジェネリック医薬品普及促進事業

① ジェネリック医薬品希望シール配付

ア.事業費

595千円

・ジェネリック医薬品希望シール作成

印刷部数 47,000枚

(1)印刷製本費 595千円

イ.内容

・ジェネリック医薬品の普及促進のため、被保険者証交付時(更新・再交付・新規)に、ジェネリック医薬品希望シールを配付した。

(4) 国保特定健康診査・特定保健指導事業

① 事業費

206,708千円

ア.報償費(保健指導)

441千円

イ.消耗品費

243千円

ウ.印刷製本費

272千円

エ.通信運搬費

545千円

オ.手数料(データ管理等)

3,638千円

カ.電算業務委託料(電算処理等)

5,511千円

キ.その他の委託料(健診・保健指導)

195,554千円

ク.使用料及び賃借料(パソナ等)

459千円

ケ.負担金(KDB等リテール保守等)

45千円

② 目的

被保険者の健康保持・増進を図るため、特定健康診査とともに、自らが生活習慣を変える等の改善を日常生活の中で実践できるように、特定保健指導を実施し、健康で快適な生活の支援に取り組む。

③ 内容

(特定健康診査)

ア.実施期間・機関 6月1日～10月31日 市内122医療機関(個別健診)
11月～12月の土曜日4日間 市内1機関

イ.特定健診受診者の数・内訳等 表1～表5のとおり

表1 特定健診受診者数の年度推移

(単位:人・%)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者	43,610	43,448	42,897	40,897	39,113
受診者	16,827	17,810	18,124	17,306	17,207
受診率	38.6%	41.0%	42.3%	42.3%	44.0%

表2 健診別受診者数の年度推移

(単位:人・%)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
個別健診	16,827	100%	17,808	99.9%	18,124	100%	17,305	99.9%	17,207	100%
事業主健診	—	—	2	0.1%	—	—	1	0.1%	—	—
計	16,827	100%	17,810	100%	18,124	100%	17,306	100%	17,207	100%

表3 年齢別、男女別 受診者数

(単位:人・%)

年齢	計			男			女		
	対象者	受診者	受診率(%)	対象者	受診者	受診率(%)	対象者	受診者	受診率(%)
40-44	2,058	441	21.4%	1,137	216	19.0%	921	225	24.4%
45-49	2,270	504	22.2%	1,266	251	19.8%	1,004	253	25.2%
50-54	2,709	671	24.8%	1,465	303	20.7%	1,244	368	29.6%
55-59	2,745	847	30.9%	1,334	364	27.3%	1,411	483	34.2%
60-64	4,001	1,594	39.8%	1,827	626	34.3%	2,174	968	44.5%
65-69	8,574	4,359	50.8%	3,735	1,761	47.1%	4,839	2,598	53.7%
70-74	16,756	8,791	52.5%	7,741	3,937	50.9%	9,015	4,854	53.8%
計	39,113	17,207	44.0%	18,505	7,458	40.3%	20,608	9,749	47.3%

表4 年齢別、男女別 受診率の年度推移

(単位:%)

性別 年齢	男					女				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
40-44	14.3%	14.9%	15.9%	16.5%	19.0%	16.3%	19.7%	23.4%	22.5%	24.4%
45-49	17.0%	18.1%	18.2%	19.6%	19.8%	19.2%	21.6%	21.9%	22.1%	25.2%
50-54	18.6%	19.4%	18.9%	18.9%	20.7%	21.7%	25.8%	26.9%	26.3%	29.6%
55-59	20.7%	23.2%	24.7%	25.0%	27.3%	26.9%	33.2%	32.6%	32.6%	34.2%
60-64	23.3%	30.0%	32.0%	30.8%	34.3%	32.4%	42.8%	43.5%	42.8%	44.5%
65-69	35.7%	43.8%	46.5%	45.8%	47.1%	41.1%	49.3%	52.7%	52.2%	53.7%
70-74	54.4%	46.4%	49.5%	48.6%	50.9%	58.6%	51.5%	54.3%	52.7%	53.8%
計	35.5%	37.1%	38.5%	38.5%	40.3%	41.3%	44.4%	46.2%	45.8%	47.3%

表5 メタボリック症候群判定

(単位:人・%)

年齢	受診者数	基準該当		予備群該当		非該当	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
40-44	441	49	11.1%	52	11.8%	340	77.1%
45-49	504	59	11.7%	69	13.7%	376	74.6%
50-54	671	116	17.3%	93	13.9%	462	68.9%
55-59	847	153	18.1%	130	15.3%	564	66.6%
60-64	1,594	300	18.8%	192	12.0%	1,102	69.1%
65-69	4,359	938	21.5%	522	12.0%	2,899	66.5%
70-74	8,791	2,010	22.9%	1,089	12.4%	5,692	64.7%
計	17,207	3,625	21.1%	2,147	12.5%	11,435	66.5%

(特定保健指導事業)

- ア.保健指導実施機関 市内16医療機関
イ.保健指導利用者の数・内訳等 表6～表8のとおり

表6 特定保健指導対象支援方法別年齢内訳

(単位：人・%)

年齢	受診者	動機付け支援		積極的支援		動機付け支援相当		なし	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
40-44	441	41	9.3%	49	11.1%	0	0	351	79.6%
45-49	504	42	8.3%	49	9.7%	0	0	413	81.9%
50-54	671	46	6.9%	59	8.8%	1	0.1%	565	84.2%
55-59	847	55	6.5%	61	7.2%	0	0	731	86.3%
60-64	1,594	93	5.8%	78	4.9%	0	0	1,423	89.3%
65-69	4,359	394	9.0%			0	0	3,965	91.0%
70-74	8,791	592	6.7%			0	0	8,199	93.3%
総数	17,207	1,263	7.3%				0	15,647	90.9%
	※4,057			296	7.3%	1	0.02%		

※積極的支援・動機付け支援相当の母数は40～64歳までの受診者

表7 特定保健指導実施数

(単位：人・%)

区分	対象者数	※指導人数	指導実施率
動機付け支援	1,263	152	12.0%
積極的支援	296	31	10.5%
動機付け支援相当	1	1	100%
計	1,560	184	11.8%

※指導人数は初回面接終了者数

表8 特定保健指導実施率の年度推移

(単位：%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
動機付け支援	14.1%	12.3%	16.0%	13.4%	12.0%
積極的支援	12.5%	10.8%	9.5%	13.8%	10.5%
動機付け支援相当	-	-	50.0%	-	100%
計	13.8%	12.0%	14.8%	13.5%	11.8%

(5) 特定健康診査等未受診者対策事業

① 事業費

8,011千円

委託料(勸奨業務) 8,011千円

② 内容

特定健康診査等委託医療機関と連携し、受診勸奨を行った。

特定健康診査未受診者及び、特定保健指導未利用者に対して、ハガキ・コールセンター等による受診勸奨を実施した。

③ 実績

特定健康診査：受診勸奨 21,001人

特定保健指導：利用勸奨 388人

(6) 受診勸奨値を超えている方への対策

① 事業費

658千円

ア. 報償費(保健指導) 360千円

イ. 消耗品費 194千円

ウ. 通信運搬費 104千円

② 実績

ア. 受診勸奨値を超えている方へ通知による受診勸奨を実施

・ 血 圧：高血圧分類Ⅱ度～Ⅲ度高血圧の方 426人

・ 血 糖：HbA1c 7.0%以上または空腹時血糖126mg/dl以上 322人

・脂質：中性脂肪400mg/dl以上の者、LDL160mg/dl以上で	
・動脈硬化性疾患予防ガイドラインで対象となった方	280人
・腎機能：eGFR45未満の者または尿蛋白（2+）以上の方または	
尿蛋白（+）以上で尿潜血（+）以上の方	132人
・心房細動：既往に心臓病がなく、心電図検査で心房細動所見のあった方	83人
イ. 電話による受診勧奨および保健指導を実施	624人
事業従事者：在宅保健師、管理栄養士	

（7）重複・頻回受診者等訪問指導事業

①重複・多剤服薬者への保健指導事業

ア. 事業費		63千円
・報償費	59千円	・通信運搬費 4千円

イ. 内容

重複服薬者に対して通知と家庭訪問による指導を行い、多剤服薬者に対して通知を行った。

ウ. 実績

対象者 41人 通知送付41人（うち家庭訪問10人）

②治療中のコントロール不良対策

ア. 内容

重複受診、頻回受診、長期受診、生活習慣病治療中の方で、指導が必要である方を選定し保健指導を行った。

イ. 実績

対象者：29人

対応数：28人（通知後、訪問による保健指導：20人、電話による保健指導：2人）

訪問期間 令和6年7月～令和7年3月

（8）糖尿病性腎症重症化予防事業

① 事業費		3,809千円
ア. 報償費（保健指導）	225千円	イ. 消耗品費 230千円
ウ. 通信運搬費	131千円	エ. 委託料（運動教室） 3,223千円

② 内容

糖尿病重症化による合併症予防のため、健診結果やレセプト情報から抽出された対象者に、病態を学ぶための学習会や栄養や運動等の個別指導を行った。

③ 実績

ア. 管理栄養士による栄養相談		41人
イ. 腎臓を守るための講演会と個別相談（CKD予防教室）	講演会	22人
	個別相談	3人
ウ. 24時間血糖測定器を利用した個別保健指導	利用者	1人
エ. 運動を中心とした個別保健指導	利用者	37人
オ. 糖尿病中断者への受診勧奨		106人

(9) 高齢者のフレイル対策

- ① 事業費 57千円
ア. 報償費 (保健指導) 48千円 イ. 通信運搬費 9千円
- ② 内容
フレイル及び低栄養リスクが高い国保高齢者へ栄養相談を行った。
- ③ 実績
管理栄養士による栄養相談 11人

(10) 健康教育事業 (ポピュレーションアプローチ)

- ① 事業費 166千円
消耗品費 (小冊子購入等) 166千円
- ② 内容
乳幼児の食事習慣が将来の生活習慣病につながると同時に、食生活の改善が健康増進や疾病予防につながることから、幼児期の食育に関する小冊子を活用し、食生活の啓発を図る。
喫煙とCOPD (慢性閉塞性肺疾患) の関連が指摘されており、喫煙習慣の減少とたばこの影響についての理解を深めていく対策が求められていることから、COPDに関するパンフレットを活用し、禁煙を促すとともにCOPDについて普及啓発を図る。
多量飲酒は生活習慣病やアルコール依存症につながることから、危険性に関する小冊子を活用し、啓発普及を図る。
- ③ 実績
出生時等に市民課、各支所の窓口等で、被保世帯に「子どもノート」を配布 58冊
保健指導時、個別健診問診時に、COPD、アルコールに関する小冊子を配布

(11) 地域包括ケアの推進

- ① 事業費 305千円
ア. 報償費 88千円 イ. 印刷製本費 217千円
- ② 目的
高齢者の尊厳の保持と自立支援のため、地域の自主性を生かしながら、関係者と協力・連携して、課題を抱える被保険者の把握と働きかけにより、被保険者を支える仕組みづくり、まちづくりなどを進める。
- ③ 内容
地域包括ケアに関する会議への出席
医療、介護、保健、福祉サービス関係者との情報共有
住民主体の地域活動の支援 (出前講座の実施)
人生会議 (ACP) の普及 (「わたしの人生ノート」作成)
- ④ 実績
・「わたしの人生ノート」 500冊作成
・福島市在宅医療・介護連携支援センターと連携し、地域の団体に出席講座を実施
・わたしの人生ノート作成委員会 2回開催

2 広報事業

(1)国民健康保険制度啓発事業

国民健康保険パンフレット「わたしたちの国保制度」の作成・配布

(a) 事業費 1,496千円

① 印刷製本費 1,496千円

(b) 内容

国民健康保険に関するパンフレット「わたしたちの国保制度」を作成し、健康増進と制度啓発のため、被保険者証更新時や新規加入時に配布した。

・作成部数 40,000部

(2)市政だよりへの掲載

毎月発行の「市政だより」に国保コーナーを設け、分かり易く制度の説明・事業案内等載せ国民健康保険の啓発を行った。

(3)国保だよりの発行

国保特集号として、市政だより折込で年2回発行。

(a) 事業費 1,497千円

① 印刷製本費 1,497千円

(b) 内容

医療費の適正化を図るため、国民健康保険制度と健康づくりについて、市政だよりに折込で年2回発行。

・発行部数 年間 210,060部